

教育課程（カリキュラム）

1. 教育課程（カリキュラム）表の見方

教育課程（カリキュラム）表とは、各学類のページにて卒業必修科目や資格要件、学修目標について記載しているものになります。カリキュラム表には履修登録や、資格取得、卒業の際に大切な情報が掲載されていますので、各自必ず確認してください。

●カリキュラム表項目

科目区分	ナンバリング	授業科目名	開講年次	単位数	修得要件	授業形態	学修目標								
							共感力	倫理観・社会的責任感	コミュニケーション能力	知識・技能	批判的思考力・創造的的思考力	グローバルな視野・地域的志向	自己管理能力	協働能力	挑戦する力
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧						⑨		

●項目の概要

① 科目区分	到達目標を達成するために教育課程をいくつかの区分に分けて、編成しています。
② ナンバリング	カリキュラム区分、分野、レベルに応じ、ナンバーにより分類することで、学修の段階や順序などを表しています。(p.48 参照)
③ 授業科目名	科目名
④ 開講年次	表記している学年以上の学生が履修することができます。
⑤ 単位数	授業科目の単位数を記載しています。なお、卒業要件単位数に換算されない「自由科目」の単位数は（ ）で表記します。
⑥ 修得要件	卒業するために必要な条件単位数を記載しています。
⑦ 授業形態	講義や実験・実習などの授業形態を示し、講義科目は「講」、実験・実習科目は「実」、演習科目は「演」と記載しています。
⑧ 学修目標 (全学共通)	科目を履修することにより、どのような能力を身につけることができるかを、ディプロマ・ポリシーとの関連性で可視化したもの(カリキュラム・マップ)です。もっとも関連性の深い項目には「◎」、関連性のある項目には「○」を記載しています。
⑨ 学修目標 (各学類)	全学共通の項目が9つある他、専門教育科目には3～4つの学類独自の項目があります。

2. 学修目標

授業を受講することにより、みなさんが身につけられる力は以下の通り9項目あり、このほかにも学類独自に身につけられる力もありますので、カリキュラム表及びシラバスを確認してください。

共感力	自分の大切さと共に他の人の大切さを認めることができるよう、他の人の立場に立ってその人に必要なことやその人の考えや気持ちなどが分かるような想像力や共感的に理解する力を養う科目です。
倫理観・社会的責任感	社会構成員としてのルールやマナーの大切さ、また職業人としての倫理観を教え、良き社会を目指して自ら社会的変化に関わっていくような意識と行動力を養う科目です。
コミュニケーション能力	他者から伝達された情報を的確に理解し、自ら伝えたい情報をしっかり整理し、適切な言葉で伝えられるためのコミュニケーション能力やそのための技能を養う科目。例えば日本語表現、作文、プレゼンテーションを中心に扱う授業科目です。 または、自分の要求を一方的に主張するのではなく建設的な手法により他の人との人間関係を調整する能力および、自他の要求を共に満たせる解決方法を見いだしてそれを実現させる力を養う科目。例えばチームワーク・グループワークの手法を用いる授業科目です。
知識・技能	教養教育・学類専門分野における基礎的・専門的な知識・技能を養う科目です。なお、学類の専門科目であっても、特定の職業に特化したものではなく、どこでも通用するような知識や教養などを養う科目も含まれます。
批判的思考力・創造的思考力	見かけに惑わされず、多面的にとらえて本質を見抜くこと、またそれによって新しい方法の発見や新しい機能的価値の発見、変化を生む思考を養う科目。 また、創造的思考は問題に直面したときに、新しく有意義な着想を生み出す思考をいう。批判的思考が働いた結果、創造的思考が生まれることが多い。つまり、多数の選択肢や異なる結果を評価することは創造的思考の必要条件です。
グローバルな視野・地域的志向	異国の文化、思想、政治、社会などの知識理解を深める科目、または特定の国や地域についての理解を深める、あるいはそのための基礎的知識・技能の習得を目的とする科目です。
自己管理能力	自分の目標を明確に持ち、その目標を達成するための課題に、自分の感情や志向をコントロールしながら取り組むことができる力、あるいは社会人として求められる態度を理解し、社会的責任を果たすために、社会の規範に従って行動できる力を養う科目（具体的には感情のコントロール、意欲やモチベーションの維持、目的意識を持つ、時間管理、体調管理などの要素を向上させる科目）です。
協働力	チームの中で自分の役割や責任を理解し他のメンバーに働きかけ、チーム全体の目標達成に貢献する力および、自ら他者に働きかけ問題解決のための活動を組織して行動することができる力を養う科目です。
挑戦する力	学修者にとって未知の分野、新しい経験、あるいはより高いレベルなどに、自らの意志で向かっていくマインドや能力の涵養が期待される科目、具体的なアクションにより自分の可能性を広げられる科目。例えば、授業内で主体的な活動を促すアクティブラーニングの要素が含まれるもの、授業外のチャレンジングな取り組み（学外実習、資格の取得など）を求める科目です。

3. ナンバリング

ナンバリングとは、授業科目をカリキュラム区分、分野、レベルに応じ、ナンバーにより分類することで、学修の段階や順序等を表し、教育課程の体系的性を明示する仕組みです。

●教養教育科目で1年生の科目（例）

1 0 L I B a 1 0 1

① カリキュラム区分	② 分野別コード	③ 分野別小コード	④ レベルと科目
10：教養教育科目 20：人文社会学類 30：心理学類 40：子ども学類 50：学校教育学類 60：健康栄養学類	分野を3文字のアルファベットで表記します。	②分野別コードをさらに細かい区分に分ける場合もあります。	1桁目は履修学年、2～3桁目で同一分野・レベル内での順番を示しています。 100番台：1年次相当科目 200番台：2年次相当科目 300番台：3年次相当科目 400番台：4年次相当科目

●分野

以下の通り、分野によってコードを付与しています。

[教養教育科目]

分 野	分野別コード	分野別アルファベット
初年次教育	FYE	First-Year Education
文学	LIT	Literature
芸術学	ART	Art studies
哲学	PHI	Philosophy
思想と倫理の世界	WTE	World of thoughts and ethics
歴史と人間社会	HHS	History and human society
人間と文化	PCU	People and culture
宗教学	RES	Religious studies
社会学	SOC	Sociology
地理学	GEO	Geography
社会科学一般	OSO	Other social sciences
法学	LAW	Law
経済学	ECO	Economics
心理学	PSY	Psychology
生命と自然	LNA	Life and nature
化学一般	OCH	Other chemistry
生活科学	HUS	Human life science
英語	ENG	English
ドイツ語	GER	German
フランス語	FRE	French
韓国語	KOR	Korean
中国語	CHN	Chinese
日本語	JPN	Japanese
リテラシー教育	LTE	Literacy Education
健康・スポーツ科学	HES	Health/Sports science
キャリアライフデザイン	CLD	Career and Life Design
チャレンジポートフォリオ	CHP	Challenge portfolio

[専門教育科目]

	分野	分野別コード	分野別アルファベット
人文社会学類	専門基礎	ILC	Introductory Level Courses
	専門展開	DLC	Development Level Courses
	専門応用	ALC	Applied Level Courses
	関連科目	REL	Related Subjects
	専門演習	SEM	Seminar
	総合実践・演習	PSG	Practical Seminar for General Science
	卒業研究	THE	Thesis
	教職課程	TLP	Teacher's License Program
	言語インテンシブ	LIC	Language Intensive Course
	建築士資格関連 (自由科目)	ARL	Architecture License
学芸員資格関連 (自由科目)	CUC	Curator Course	
人文社会学類 (分野別小コード)	人文社会導入	h	Humanities and Social Sciences
	現代社会	o	Contemporary Society
	地域実践	r	Regional Activity
	都市生活	u	Urban Life Studies
	国際文化	i	International Liberal Arts
	メディア表現	m	Media Studies
	プレゼンテーション	p	Presentation Skill Program
	社会	s	Social studies
	英語	e	English
	韓国語	k	Korean
中国語 (インテンシブコースの場合のみ)	c	Chinese	
心理学類	学群基礎科目	PEB	Psychology and Education , Basic
	心理学基礎科目	BPC	Basic Psychology Courses
	基礎心理学	GPC	General Psychology Courses
	実践心理学	PPC	Practical Psychology Courses
	心理学関連科目	OPC	Other Psychology Courses
	実習演習科目	PRA	Practicum
子ども学類	学群基礎科目	PEB	Psychology and Education , Basic
	専門基礎科目	CBS	Child Basic Subjects
	子どもの心理と健康	CPH	Child Psychology and Health
	子どもの福祉	CWE	Child Welfare
	子どもの保育と教育	CNE	Child Nursing and Education
	子どもの文化と社会	CCS	Child Culture and Society
	関連教育科目	CRS	Child related education subjects
	総合科目	THE	Thesis
学校教育学類	学群基礎科目	PEB	Psychology and Education , Basic
	小学校教育科目 教職基礎理解科目	ETB	Elementary school Teacher training Basic
	小学校教育科目 教科及び教科の指導法に関する科目	ETM	Elementary school Teaching Method
	特別支援教育科目	SSE	Special Support Education
	中学校教育科目 教科及び教科の指導法に関する科目 (国語)	JJT	Junior high school Japanese language Teaching method
	中学校教育科目 教科及び教科の指導法に関する科目 (保健体育)	JPT	Junior high school Physical and health education Teaching method
	教育実践科目	EPS	Education Practice Subject
	専門発展科目	SDS	Specialty Development Subject
	総合科目	SIS	School education Integrated Subject
	健康栄養学類	専門教育科目	HLN